授　業　概　要

（こども保育科）

授業のタイトル（科目名）	授業の種類	授業担当者	当該科目に関する実務経験
日本国憲法	（ 講義 ・ 演習 ・ 実習 ）	伊藤　晶	

授業の回数	時間数（単位数）	配当学年・時期	必修・選択
15 回	30 時間（2 単位）	1 年・後期	必修

［授業の目的・ねらい］
・　社会福祉の専門家として広く法律全般の基本的知識を修得する。
［授業全体の内容の概要］
・　法学全般を学んでいく。「法とは何か」「憲法」「人権」「行政法」「刑法」「民法」の順に講義を進める。
［授業終了時の達成課題（到達目標）］
・　法律全般の存在意義を、理解、説明できるようになる。
・　私たちの権利保障において、法律がどのような働きをしているか、どのような課題や問題があるのかを、理解し、専門職としての思考を深める。

［授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法］

1～2　法学への誘い	1　法とは何か　2　法源（法の存在形式） 3　法の体系　4　法の効力　5　法の適用と解釈
3～4　統治と法	1　憲法の基礎　2　国民主権と天皇制 3　立法と国会　4　行政と内閣　5　司法と裁判所
5～6　人権と法	1　人権の在り方について　2　自由と人権 3　社会生活と人権　4　受益と人権　5　参政と人権
7～8　行政と法	1　行政法の基礎　2　行政と救済
9～10　犯罪と法	1　刑法の基礎　2　犯罪行為と法　3　刑罰と法 4　個人的法益に対する罪　5　社会的法益に対する罪 6　国家的法益に対する罪
11～12　財産と法	1　民法の基礎　2　債権と法（1）　3　債権と法（2） 4　物件と法　5　担保物件と法
13～14　家族と法	1　親族と法　2　相続と法
15	期末試験

［使用テキスト・参考文献］
・　三好充　他「ポイント法学」（嵯峨野書院）
＜参考文献＞
・　芦部信喜「憲法」（岩波書店）
・　伊藤正巳「憲法入門・第4補訂版」（有斐閣）

［成績評価の方法と基準］
教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。
・考査点(75%)
・到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考査を実施する。
・平常点(25%)
・授業ノートの提出、その内容が課題に沿ったものである。
・授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。